

職場エンゲージメント向上の取り組み

エンゲージメントサーベイを実施した結果、ニチバングループは個々の部署内でのコミュニケーションは良好で、仕事上の連携も取られているが、全社的な連帯感希薄な部門が多く、年代や階層間の意思疎通に課題があることが分かりました。ニチバングループの理念の5つの行動指針の1つである「チームワーク」は、「組織を超えて協力し最後までやり遂げよう」と規定しています。組織・部署・階層を横断しての連携を目指す

ものですが、不足しているヨコのつながりを育む土壌を作るために、2024年度はいろいろな新しい取り組みを行い、それをグループ全体で共有しました。『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』の実現に向けて、エンゲージメント向上委員会を設置し、多様な部署・部門から選出した若手社員による「職場エンゲージメント向上プロジェクト」のメンバーが話し合い、新しい企画を実現して、エンゲージメントの向上に努めました。

安心して意見を言い合える関係を築く

心理的安全性ワークショップ

開催時期：2024年8～12月に4回開催 参加者：部長、支店長、課長など延べ112名

社員それぞれが日々働く職場で、人と連携して業務を進めてゆく上で、「心理的安全性」を持つことが重要と考え、職場を束ねる部長職相当の人員を集めて「心理的安全性ワークショップ」を開催しました。外部から講師を迎え、心理的安全性についての解釈とその重要性を学び、各自の管轄している部署の状態を確認して、心理的安全性を担保しながらさらに職場を活発にするアイデアなどを話し合いました。



得られる学び 自部署のリーダーとして、自身のアプローチは働く仲間へ安心を与えるものなのか見直す。

参加者の感想 自身が実践して、部下にも伝承していきたい。

仕事や組織への理解とつながりを深める

職場見学会／営業職の工場見学と部署間交流会

開催時期：2025年2月
参加者：営業部署と間接業務部署の社員約20名、並びに工場勤務社員

営業部署と間接業務部署に所属する社員は、実際に自社工場へ立ち入る機会は少ないため、自分たちがお客さまへ販売している製品がどのようにつくられているのか知ることが重要と考え、主力製品であるセロテープ®、ナイスタック™、ロイヒつば膏™の製造工程を見学しました。見学後には、仕事のやりがいや大変なこと、お互いの業務への質問等をテーマに工場勤務者と交流を深め、ヨコの繋がりをつくることができました。

得られる学び

製品の製造過程を理解するとともに、別部署の業務や社員の人柄を理解・尊重することで、ヨコのつながり、一体感を醸成する。

参加者の感想

営業担当者からは「製品の製造過程を学べたので、お客さまへ自信を持って勧めたい。」一方、工場勤務者からは「生産している製品が、市場から求められていることを聞いて、さらに注力して生産していきたい。」などの意見が出ました。



製造部署のメンバーがステーションナリー展示会に参加

開催時期：2025年2月
参加者：安城工場・埼玉工場・製品設計部の合計5名

安城工場、埼玉工場ならびに製品設計部の合計5名が「営業職」として、コンシューマーが来場する文具展示会であるユーザーフェアに参加しました。事前に営業部門の社員による勉強会があり、製品知識や接客方法を学びました。当初は緊張の面持ちで対応していましたが、お客さまから「いつも使っている」、「これいいよね」などのお言葉を直接いただき、改めて製品を愛用くださるお客さまに感謝し、自部署での業務意欲が湧きました。

得られる学び

お客さまと接する機会のない製造・設計部署のメンバーが文具展示会に参加して自社製品説明を行うことで、市場の反応を実感して業務に活かす。

参加者の感想

お客さまの要望や期待を直接知ることができたので、製品開発や製造に活かしていきたい。「使ってます」や「これいいよね」などのお言葉をいただき、誇らしい気持ちになった。



多様性が育む社員の成長

キャリア入社者インタビュー

開催時期：2024年12月 参加者：キャリア採用者12名
開催時期：2025年1月 参加者：キャリア採用者3名

ニチバングループでも近年の傾向としてキャリア入社（中途採用）の社員が増えております。前職での経験と多様なスキルを持つこれらの方々が、他社と比較してニチバンを選択した理由を、相互インタビュー形式で語り合い、それを社内Web記事や社内報で共有しました。「ニチバンの良さ」を見つめ直す機会とするために、通常の会議形式だけではなく、ランチ会や「自己紹介トレーディングカード」を自作しての意見交換会なども開催しました。

得られる学び

「社外の視点」も持つメンバーとプロジェクトメンバーが交じり合うことで発見される「気づき」

参加者の感想

前職での経験を踏まえて、これからやってゆきたいことと社内へ影響を及ぼしたいことを改めて確認することができた。



正社員登用者キャリアデザイン研修

開催時期：2025年3月
参加者：嘱託採用から正社員に登用された18名

全国のさまざまな部署で、嘱託社員から正社員へ登用されたメンバーが安城事業所に集合して、医薬品安城工場の製造ライン見学のものち、昼食会を挟んで外部講師によるキャリア研修を受講しました。工場見学では、製品をお客さまのもとに届けるにはたくさんの工夫や労力が必要なことを改めて学習し、メーカー社員であることの醍醐味を実感しました。研修では自己理解と自身の強みを活かすことを学び、一緒に受講したメンバーとのつながりも持てました。

得られる学び

ニチバンというメーカーの一員となったことを実感し、これまでと、これからの自身のキャリアを見つめ直す。

参加者の感想

工場見学をしたことで、自分も製品をつくりお客さまへ届ける仕事に携わっていることを実感した。仕事を振り返り自身の強み、課題を再認識し、これからの仕事とありたい姿を具体化した。他部署とのつながりもできた。



2025年度よりエンゲージメントツアーを新設

従来から、職場エンゲージメント向上プロジェクトの事務局が企画していた「職場見学会」（工場見学、営業展示会参加）などは、今後コーポレートコミュニケーション部が業務として全体管理を担い、定例実施します。「職場見学会」の名称を改め「エンゲージメントツアー」とし、社会貢献活動などにも社員が参加する仕組みを作ります。

エンゲージメントツアーの目的

社員が環境・社会貢献活動を体験し、さまざまなステークホルダーと接点を持つ

社員が当社の社会貢献活動に共感し、社会における存在意義を実感する

他部署の業務を理解することで、組織を超えたつながりを強化する

社員間の相互理解を深めることで真のチームワークを促進する

体験を通じて新しい知識や視点を心得、業務へ活かす

2025年度エンゲージメントツアー内容（予定）

- 先端応用研究所見学&体験
- 製品設計部見学&体験
- 安城事業所見学（安城工場・医薬品安城工場・ニチバンテックノ）
- 埼玉事業所見学（埼玉工場・ニチバンプリント）
- 文具展示会参加
- お客様相談室業務体験
- ニチバン巻心ECOプロジェクト 広島県植林体験
- ニチバン巻心ECOプロジェクト 出前授業体験
- ブラインドサッカー体験（社内会場）

参加対象者

ニチバン株式会社全社員、手挙げ応募制

第1回エンゲージメントツアー 【植林ツアー】

植林ツアー参加者の声

2025年5月21日に広島県廿日市市の日本製紙株式会社所有する山林での植林活動に行ってきました。この活動はニチバン巻心ECOプロジェクトの一環としてコーポレートコミュニケーション部が実施していたことは知っていましたが、今回初めて希望する社員が参加できると聞いて、応募しました。ハイキング程度は経験がありますが、植林なんてもちろん初めてです。当日は小雨で霧も出ていて山の斜面は思ったよりも切り立っていてとてもハードでした。

すが、初めて会話した別の部署の人と一緒に作業できて、山林や自然環境に関する講義も受けさせていただき、とても有意義な経験でした。水害を防ぎ、紙やセロテープ®の原料にもなる木を育む作業は本当にたくさんの方々によって支えられていることを実感しました。



参加した活動

社員20名での広島県での植林活動

2025年5月21日 手上げ応募にて選出された社員20名にて、スキのエリートツリー苗、約200本を植林

※エリートツリーのスギは標準的な杉品種と比較して、成長速度が1.5倍以上、成長過程のCO₂吸収量が1.5倍以上、花粉量が半分以下、製材した際の剛性が平均以上等の特長があります。

